

鐵鋼の獨立自給策に對する討議

工學博士 大河内正敏

私は何も腹案があつて出た譯ではありませぬ、各學會から一人宛出ると云ふことで私が出た譯であります、決して私は所屬の會を代表して居るのではありませぬ、私が今日此鐵の供給問題に付きまして只一言申し上げたいと思ふ事は只今野呂博士のお話を伺ひまして盡ました私は一から十迄賛成でございます、全然御同意であります、其中で殊に私は御同感でありますのは關稅の保護に依て日本に於て製鐵事業を起すと云ふことであります、是が中々容易に行はれないことである而して決して一言を以て斷定出來ない事と考へますが併し私は此方法を取ることが希望する一人であります、現今に至る迄、戦争が始まる迄、需要者の側、即ち鐵とか鋼とかを使う方からして非常に反對があつた。何でも安く物を買入れると云ふことのみ目的として自分の國に於て獨立して鐵とか鋼とかを供給すると云ふ考はなかつたから從來は大反對を免れなかつた。其一として造船協會がどう云ふ決議をしたか、船價調査會を設けて決議した第一の事項は關稅を引下げろ、さうして鋼を安く得やうと云ふ決議をして居る、關稅を引き下げると云ふことは非獨立非自給である。今日になつて輸入が止つて日本で獨立自給をしやうとしても間に合はないのは寧ろ當然である、自業自得である、戦争が始まる前には日本で出來た物を日本の工業家が使うことは考に入れて置かぬ、例へば八幡の製鐵所の製品なるものは海軍でなければ使はないと云ふ位民間は製鐵所を馬鹿にして居た傾向はなかつたか、或はさう言ては語弊があるか知らぬが多少さう云ふ傾向があつた。今日は輸入が止つたからどうかして供給を受けなければならぬと言つた所が逆も行はれるものでない、私は供給が止るが宜いと思ふ、先程高崎貴族院議員のお話になつた如く供給が止ると云ふことに奮發を促し或は發明を促し總ての方面に向つて發達の本であると云ふことでありました、私も至極御同感である、苦しい苦しいと言つても無いのではない、どうか斯うか間に合つて居る、只高い物を買ひたくないと云ふのである、愈々物がなくなればどんな方法を以ても供給する道がある、例へば軍艦を派遣して亞米利加

へ行て取てくる、呉れなければ戦争しても取てくると云ふ決心があるならば、必ず供給は出来ると思ひます、只私の憂へるのは戦争の後である、野呂博士のお話の如く戦争後に於て今日起つた製鐵事業が立行くかと云ふ問題である、戦争が濟んだら造船業者が又關稅の引下と云ふことを言出すか分らぬ、今日煽てられて出来る製鐵所製鋼所が今後どうして世界の市場で競争して行くか之は十分に今日から考へなければならぬと思ふ、詰り飽迄も關稅保護と云ふことは必要である。是は製鋼製鐵事業を保護するの原則として必要である若し萬一今後の戦争に於て日本が諸方から供給を絶たれても少しも困ることなしに自分の國で供給すると云ふ策を今日立てなければならぬ、それを立てる爲めにはお互に相當の苦痛を忍んでも高い材料を使はなければならぬ、高い材料を使う苦痛は先程野呂博士のお話の如く他の方法を以て國家が保護すると云ふ政策を取れて宜しい、今日此方針を極めて置かなければ到底獨立自給と云ふことは出来ないと思ふ、先づ是だけにして置きます(拍手)

鐵鋼の獨立自給策に對する討議 (鐵線の内地製造に就て)

工學博士 利 光 平 夫

私は遞信省に奉職して専ら電信電話の事業に従事して居る利光と申す者であります、本日此席に出まして貴重なる時間の割愛を願ふ所以のものは、私が職務上から多年間聊か注意して居りました、鐵線に關する愚見を開陳しまして、諸君の清聽を瀆さんと欲する爲であります、御承知の通り電信電話事業は、電氣事業の中でも、最古きものであります、今日迄に我遞信省に於て投資せる金額は約七千七百萬圓に達して居ります、然るに此事業はまだ一其工程の半ばにも達しませんで尙擴張改良を要する餘地非常に大なるものがあります、私共の理想通りに此改良擴張工事を遂行する爲には、約一億二千萬圓を要する考であります、此工事を進捗せしむる爲に遞信省は毎年の様に豫算を提出して居りますが、何時も大藏省に於て大々の削減を加へられ、若くは絶對に否決せらるゝ様な運命に遭遇して居ります、其主なる原因は一般財政上の緊縮に伴ひ資金を得る事の困難から來るのではありますが、茲に一つの大なる難關が横は